

あいちゼロカーボン推進協議会

設立のご提案

2021年3月26日

あいちゼロカーボン推進協議会
準備室

本資料は3月26日に開催されました
あいちゼロカーボン推進協議会準備会で
承認された内容の一部です

発起人からのメッセージ

ゼロカーボンとは農業革命、産業革命、IT革命に次ぐ第四の革命とも言われ、これまで進められてきた省エネルギーや再生可能エネルギーの導入などといった従来の延長線の取り組みにとどまらず、革新的な技術開発を進め、社会に導入し、社会を変えていく必要があります。

また、素材から生産、製品利用、廃棄・再生利用といったサプライチェーン全体での取組も不可欠です。加えてオフィスビルや店舗、交通、サービス業、ロジスティックス、公共施設、家庭などあらゆる分野において、積極的な取組を進める必要があります。

このため、ゼロカーボン社会の実現には多様な主体が連携して総力を結集し、各々の活動を連動させながら取組を進め、社会や社会制度を変えていく必要があるのです。

そうした大きな動きをつくっていく上で、産業・学術・行政の連携協働は極めて重要です。

愛知県を中心とする中部圏は、ものづくり産業の一大集積地として我が国の経済発展に大きく寄与して参りました。この地には、高度な産業技術・生産システムが集積され、機能的な流通・物流基盤が整備されているのに加え、高度な環境技術とそれを活用した環境ビジネスが展開されています。

さらに、産業・学術・行政の連携協働の実績もあります。愛知は、ゼロカーボンの実現に向けた取組の先頭に立つに相応しいポテンシャルと責任を持っているのです。

こうした認識に立って、私たちは、ゼロカーボン社会の実現に向けたイノベーションを起こしていくためのコラボレーションの場を創ることが急務であると考え、ここに「あいちゼロカーボン推進協議会」の設立を提案するものです。

一緒にゼロカーボン社会の実現に向け活動していきましょう。

愛知県知事	大村 秀章
名古屋大学総長	松尾 清一
愛知工業大学学長	後藤 泰之
中部産業連盟会長	伊奈 功一

発起人会でのコメント

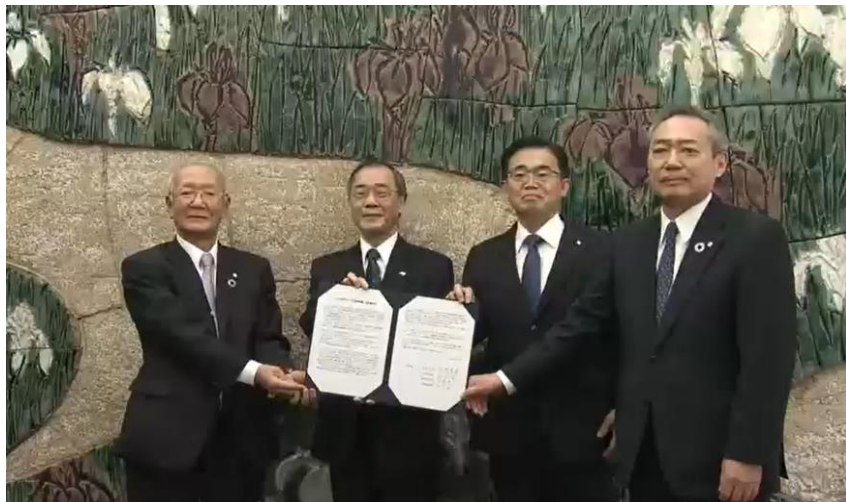


愛知県 大村知事

日本一の産業県の愛知だからこそ、ゼロカーボンの
トップランナーとして取り組んでいく必要がある

名古屋大学 松尾総長

最先端技術の研究開発のみならず、ライフスタイル
価値観など広い視野から英知を集めて貢献したい



愛知工業大学 後藤学長

ゼロカーボン社会の実現に向けた連携協働の場を
つくることが急務だ

中部産業連盟 伊奈会長

開発された技術を素早く産業界に展開するよう
尽力したい

背景 持続可能な社会の実現

安全を基盤とした脱炭素・循環・自然共生の各分野を統合的に達成した
持続可能な社会の実現には“**ゼロカーボン**”が主要テーマ

技術および産業構造の**パラダイムシフト**が不可欠
従来の経済原理主義から**成長の機会と捉える時代**へ（グリーン成長戦略）

多様な主体が**サプライチェーン全体**で取り組み、**社会実装**することで
ゼロカーボン社会の実現を加速

あいちはさらなる世界に誇れる地域、ビジネス拠点へ

日本におけるゼロカーボン社会への取り組み

日本政府

- 2020年10月 「2050年までに温室効果ガス排出量ゼロを目指す」ことを宣言
- 2020年12月 「カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」として成長戦略の重要課題に位置付け行動計画を公表

自治体

- 全国331自治体が「ゼロカーボン都市」を宣言し、具体的なアクションプランの策定を開始

(2021年3月19日時点)

企業

- パリ協定を契機にゼロカーボンに向けた脱炭素経営が進展し、グリーンファイナンスの勢いも増加

大学

- ゼロカーボンに向けた多様な先進技術の研究開発が加速
- ビヨンドゼロ（過去に排出された大気中のCO2削減）に関する研究もスタート

産学官連携



産業・学術・行政のコラボレーションとイノベーションの喚起に
取り組むことでゼロカーボン社会の実現を目指す

団体の概要

名称	あいちゼロカーボン推進協議会
設立発起人	愛知県知事 大村 秀章 名古屋大学総長 松尾 清一 愛知工業大学学長 後藤 泰之 中部産業連盟会長 伊奈 功一
目的	我が国の成長戦略及び地域循環共生圏の考え方を踏まえながら、産業・学術・行政のコラボレーションとイノベーションの喚起に取り組むことによって、ゼロカーボン社会の実現を目指す。
会員の募集	企業、自治体、大学研究機関、団体などに参加を呼び掛ける。 会員は愛知県内に限定せず、広く全国から参加できる。
会費	1 : 入会金 : 5万円 2 : 会費 : 5万円/口 一般会員 : 5口以上 特別会員 : 無料

活動内容（案）

具現化活動

- 新たな社会像の提案、その実現に向けた制度や政策の提言
- 先端技術の研究開発とその社会実装
- 企業活動やライフサイクルを通じた製品のゼロカーボン化
- ゼロカーボンのまちづくり推進

支援活動

- ゼロカーボン社会の実現に向けた気運の醸成
- 人材の育成
- 情報発信・国際交流
- グローバルな展開

活動内容（3ヶ年主要活動案）

	2021年度				2022年度		2023年度		2024年度以降
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上半期	下半期	上半期	下半期	
愛知県					【ロードマップ策定等】 WG検討結果等を踏まえて協議を重ね、具体的なCN実現に向けたロードマップを策定する。供給側・利用者側・まちづくりの3つの柱等で検討を行う。 【産学官カーボンニュートラル共同研究PJ着手】 上記の基礎自治体ロードマップや県内ロードマップ等に基づくF/Sや共同研究PJ等を着手可能なものから実施していく。 【カーボンニュートラル個別企業、PJ支援】 会員を中心に、具体的な困りごとに対し支援を実施していく。		【ロードマップの着実な実施】 CN実現に向けたロードマップの着実な実施とPDCAを重ねていく。スーパーシティ構想等と連携したプロトンアイランド構想に基づく具体的なハード整備等を含める。		
ZC宣言自治体	【宣言自治体ロードマップの策定等】 宣言自治体の計画等を策定支援。								
学術機関等	【CFPプラットフォーム構築検討等】 【人材育成／啓蒙・啓発等】								
エネルギー部門	【部門ごとの課題抽出等】 温室効果ガスの排出部門ごとにWGを設置し、カーボン診断を実施し、課題と解決の方向性を提案								
産業部門	【部門ごとのベストプラクティス共有等】 温室効果ガスの排出部門ごとにWGを設置し、ベストプラクティスを共有し、自社に生かす								
業務部門									
廃棄物部門等									

活動内容（2021年活動案）

1. 2050ZC実現に向けた愛知県版ロードマップの検討

2050年に目指す姿と2030/2040のマイルストーン策定

2. 産業別のCN実現に向けた対応方向性と産業再編の検討（産業）

「ものづくり」を基軸として、産業を以下に分類して検討

電化が可能な産業（グリーン電力に置き換え）

電化は不可能だが、カーボンフリー燃料(水素・再生メタン等)への転換が可能な産業

電化／カーボンフリー燃料ともに転換が不可能な産業

3. ゼロカーボンを目指した企業の支援（産業）

ゼロカーボン診断（排出量策定、排出削減手段提案）、対策支援など

4. 基礎自治体のゼロカーボンシティ実現に向けた具体策検討（自治体）

ゼロカーボンシティを宣言した基礎自治体のロードマップ作成・支援策の先行的検討

5. ゼロカーボンオフィス、ビル、キャンパス等の推進

ゼロカーボンを目指す多様な取り組みの支援

活動内容（2021年活動案）

6. プロトンアイランド構想の検討（学術機関等）

「水素」「CO2」を基軸としたコンビナート構想と研究開発・産業集積の方向性の検討

7. 上記を支えるCFPプラットフォームの構築検討

CO2の見える化とそのデータベースの構築並びにCP等との連動検討

8. ゼロカーボン人材の育成支援

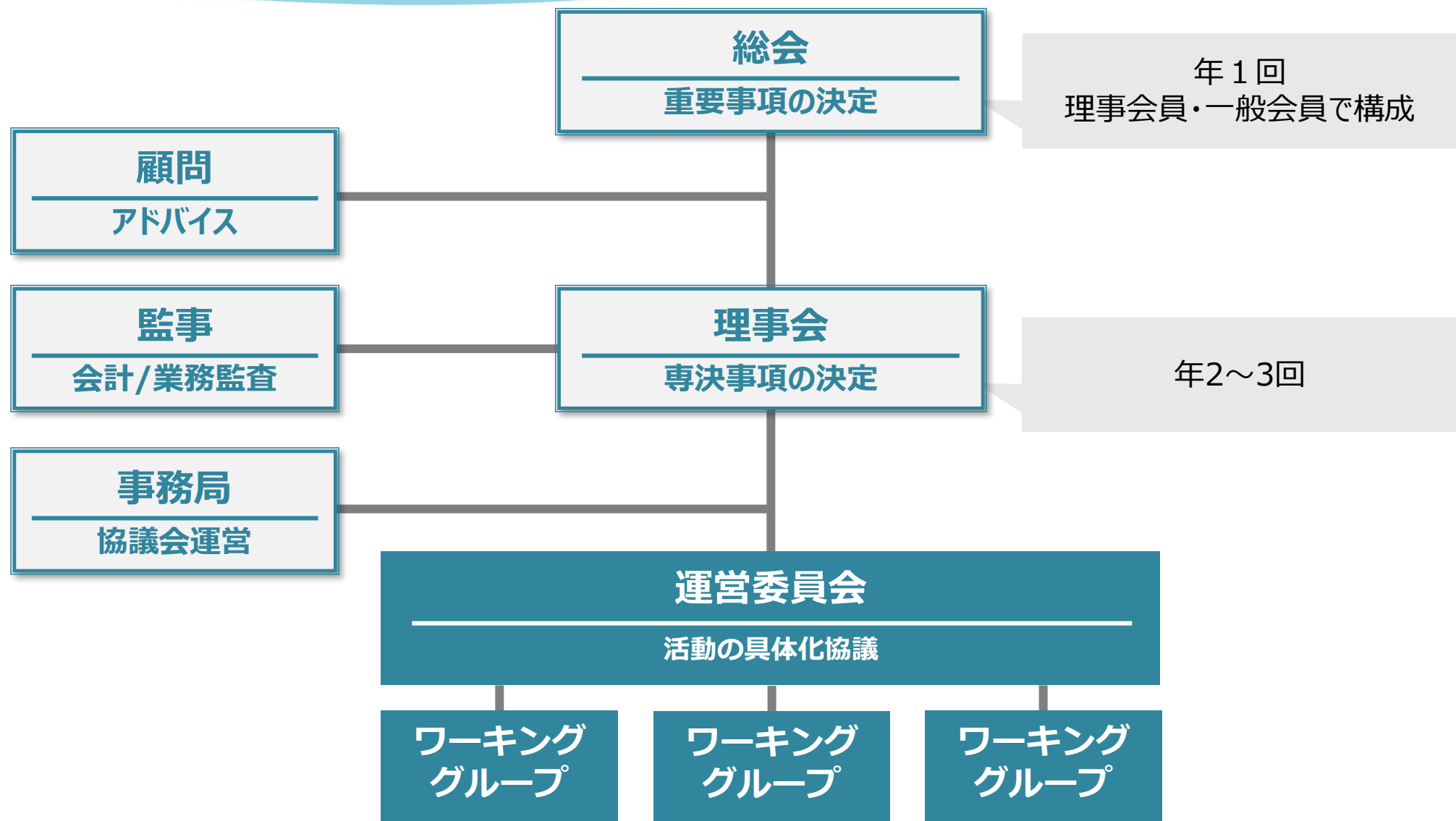
文科省、環境省等と連携した、人材育成プログラムの開発と、育成コースの運営

9. ゼロカーボン社会の実現に向けた気運の醸成

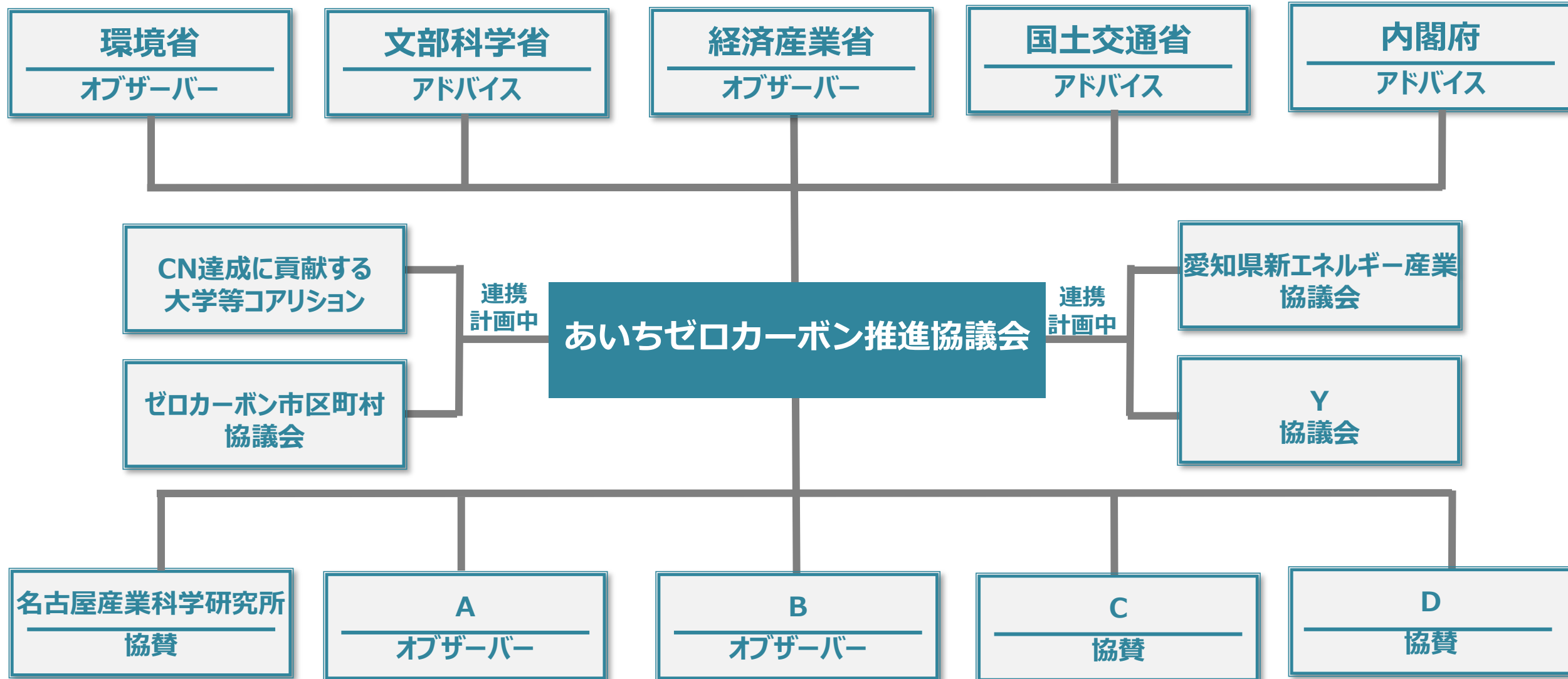
セミナー、講演会を通じた情報展開
顕彰制度、啓発活動による気運の向上

10. 国内外への情報発信、他団体との連携強化による活動の横展開

組織体制（案）



各種団体との連携（案）



今後のスケジュール

2021年2月～

自治体・企業・大学への参画呼びかけ

2021年4月6日

第2回 発起人会

2021年4月22日

ウイルあいち

オンライン開催

13:15-13:45（事前）会長互選、副会長指名

14:00-15:00 設立総会

愛知県 大村知事 ご挨拶

環境省 中井事務次官 ご挨拶・政策紹介

中部経済産業局 畠山局長 ご挨拶

活動計画、規約、予算、役員等

15:00-16:00 記念講演会

東京工業大学 柏木名誉教授

お問い合わせ先

一般社団法人 中部産業連盟

あいちゼロカーボン推進協議会 準備室 梶川 今野 木村

■ **Mail:iZEC@chusanren.or.jp**

■ **Tel:052-938-3535**